



さちが丘小学校 学校だより

# 若竹

12月号

令和3年11月30日  
横浜市立さちが丘小学校  
校長 高浜 正太郎  
TEL.361-0777 FAX.361-0787

WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sachigaoka/>

## 地産地消の推進

校長 高浜 正太郎



これは、今年の人権週間ポスターに書かれている言葉です。昭和23年12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として「世界人権宣言」が採択されてから、今年で第73回目の人権週間を迎えます。

「人権」とは、一人ひとりが生まれた時からもっている「自分らしく生きる」権利のことであり、一人ひとりの違いを認めたり、自分や友だちのよいところを見つけたりすることにより、それぞれが大切な存在であることを知ることができるような取組がこの人権週間の中で行われています。

人種、性別、年齢など様々な違いを認め合い、誰もが安心して豊かに生活できることを目標として、決して他人事せず自分事として取り組んでいけるよう、教職員一同、人権週間の中でも改めて指導してまいります。

昨年度より、本校では「育てて食べようプロジェクト」として、地域にお住まいの新堀様より長らくお借りしている畑での栽培活動に取り組んでいます。同じく地域にお住まいの杉山様に畑づくりをお手伝いいただくとともに、保護者の皆様にもご協力いただきながら2年生を中心にサツマイモを育ててきました。11月19日（金）には無事収穫を済ませ、今年も豊作となりました。収穫したサツマイモは12月7日の給食の献立でみそ汁の具材となり、全校児童で食べる予定となっています。

食育の重要性が取り上げられて久しくなりますが、その発端として平成17年に制定された食育基本法があげられます。食生活の乱れや栄養バランスの偏り等、日本において食に関する問題が取り沙汰された中での制定でした。今年の4月に文部科学省より発出された第4次食育推進基本計画を見ると、基本的な方針として「生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進」と「持続可能な食を支える食育の推進」が打ち出されています。また、食育推進の目標の中に「学校給食での地場産地を活用した取組等の増加」と「産地や生産者への意識」が含まれています。自分たちで育て、食べることは、まさに地産地消であり、この目標に向けた取組に当てはまります。

現在、畑では個別支援級がダイコンを植えて、大切に育てています。一人ひとりが自分の種を畑に植えて水をやり、経過観察をしています。このように多くの植物が日々生長していき、子どもたちは水やりをしながらその様子を継続して観察することにより、確かな学びにつながっています。お力添えをいただいている地域や保護者の皆様には、心より感謝申し上げます。

日光修学旅行が実施され、6年生の子どもたちにとって充実した2日間を過ごすことができました。明日より12月を迎えますが、12月7日（火）～9日（木）に予定されている「さち小マラソン大会」に向けて、子どもたちにとって達成感のある行事となるよう計画的に練習や準備を進めています。ご家庭の皆様には、ぜひご来校いただき、温かいご声援を送っていただけたらと思います。校外委員の皆様をはじめ、ボランティアとしてご支援いただく保護者の皆様におかれましては、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。